

風疹（三日ばしか）

風疹はウイルスが原因の感染性の疾患です。多くの場合、症状は軽く、微熱、咽頭痛、発疹です。しかし、風疹は、妊娠中の妊婦が感染すると、胎児に重大な障害や流産を起こすことがあります。

症状

多くの場合、症状は軽く、

- ・ 微熱
- ・ 咽頭痛
- ・ 発疹（顔から全身にひろがる）

を認めます。

発疹出現前に頭痛や、結膜炎、全身の不快感を認めることがあります。感染しても、25-50%の人は、症状を認めません。

潜伏期

平均潜伏期間は約 17 日（12-23 日）です。

感染経路

風疹ウイルスは患者の鼻やのどの粘膜に生着する感染性のウイルスです。咳やくしゃみをした時のしぶきに含まれるウイルスによって感染します。

（” Rubella (German Measles, Three-Day Measles),” Centers for Disease Control and Prevention, <https://www.cdc.gov/measles/index.html> より）

予防法

風疹抗体価を調べ、陰性の場合、ワクチンを接種することが感染予防に重要です。このことは特に医学系・教育系の学生・教職員、病院職員にとって重要です。また、マスクを着用する、咳エチケットを守る、こまめに手洗いする、といったことが感染の拡大を防ぎます。

風疹と診断された場合

風疹と診断された場合は、登校・出勤せず、担当事務ならびに保健管理センターにご連絡ください。

- ・ **学校における出席停止期間の基準**

発疹が消失するまで（学校保健安全法施行規則）

- ・ **病院職員ならびに診療に従事する者**

まず、病院感染制御部（Tel: 082-257-5372）に連絡の上、その指示に従ってください。

ご不明な点があれば、ご相談ください。

保健管理センター（Tel: 082-424-6192, email: health@hiroshima-u.ac.jp）